

# 復興道路を支える 10の建設技術

復興道路  
建設技術

地域の未来を託す復興道路、絆を繋ぐ復興支援道路

Vol. 3

## 8 あっという間に組立てられます！

復興道路  
建設技術  
Vol. 3

### KKフォーム壁高欄工法

国道45号新天王橋上部工工事 (国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所/川田工業(株))  
 国道45号首波神高架橋上部工工事 (国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所/宮地エンジニアリング(株))

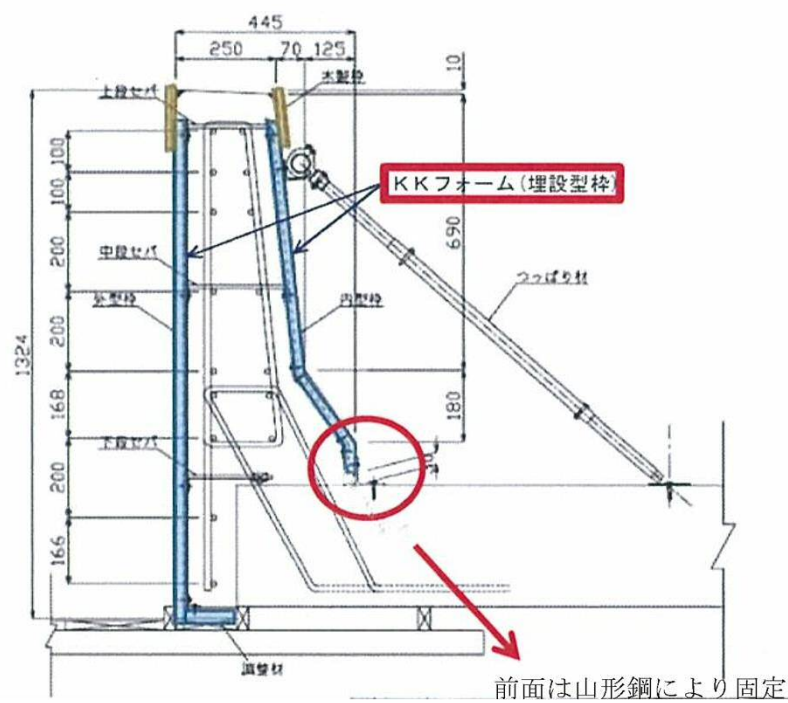
#### 施工現場の課題

- H27.1月から着工しましたが、H27.12月末までに次工事への引き渡しが要求され、現場工程の短縮が課題となります。
- 既設三陸道からの離隔が完成形で670mmしかなく、資材の吊上げ旋回や架設時に強風が吹く地域あったため、資機材の飛散、第三者災害に細心の注意が必要です。

#### 技術のアピールポイント

- 材料製作時に剥落防止剤が施されており現場打ちコンクリートに添加物を追加する必要がありません。
- 脱枠の工程が大幅に短縮でき、生コンプラントの骨材の色等の影響を受けず均一の見栄えのよい壁高欄ができます。
- 手で持てる重量であり施工性は従来型(木製型枠)と大きく差はありません。

KKフォーム壁高欄断面図



#### 技術導入の経緯



本資材の導入は脱枠工程が大幅に短縮され、資材自体に重量があるため風による型枠材の飛散の懸念が払拭されることから本工法を採用します。



組立状況

生コン打設状況



三陸沿岸道路 矢本石巻道路  
(宮城県石巻市蛇田地区)

#### こういう場面に！

- 工程を短縮させたい時や、施工の省人化・省力化を図りたい時に有効です。

#### 技術導入の効果



KKフォーム壁高欄工法は新技術に係わる情報の共有及び提供を目的とした新技術情報提供システム(NETIS)に登録されている技術です。  
NETIS登録番号:KT-150027-A

